

# 議会だより



議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます  
[http://www.town.hachijo.tokyo.jp/gikai/gikai\\_dayori/gikai\\_dayori.html](http://www.town.hachijo.tokyo.jp/gikai/gikai_dayori/gikai_dayori.html)

このバナーからアクセス



## 議会

町議会のしくみについて

本会議について

[・定例会の流れ](#)

委員会について

全員協議会について

会議録について

町議会の傍聴について

- [・議会を傍聴する際の手続き](#)
- [・議会を傍聴する際に守らなければならない事](#)



### 定例会のお知らせ

平成25年第二回定例会は  
終了しました

### 八丈町議会議員名簿

八丈町議会議員を議席番号順で  
紹介いたします

### 審議結果

平成25年6月6日更新

一般質問の録画映像配信開始

八丈町公式サイト内、八丈町議会のバナーからアクセス

[http://www.town.hachijo.tokyo.jp/gikai/top/gikai\\_top.html](http://www.town.hachijo.tokyo.jp/gikai/top/gikai_top.html)

## 目次

### 第2回八丈町議会定例会

平成25年6月4、5日開催

- ゆれる観光行政 ..... 2
- 一般質問 ..... 3
- 第2回定例会の質疑から ..... 11

# 第2回八丈町定例議会

(平成25年6月4、5日開催)

## ゆれる観光行政

島の基幹産業である観光。その窓口である観光協会が使途不明金問題を抱え、今、危機的状況にあります。今議会では、議論の多くがこの問題に集中しました。

### 観光協会の不明金問題

5月29日に観光協会の定期総会があり、決算、予算審議のほかに、前事務局長の不祥事を明らかにするための外部監査が入り、その詳細が報告されました。総会には7人の議員が出席したほど、この問題には関心が高く、6月議会では、協会運営の問題点と町の対応の是非について、激しい議論の応酬がありました。

「観光協会の組織を段階的に解消し、あらたな



町の組織を」「誰も不祥事の責任を取らないのはおかしい」「人事が変わらなままでは協会の体制に疑問が残る」「補助金を出している組織の不祥事であり、欠損金は補てんさせるべきだ」「協会の執行部は全員退陣し、やり直しをすべきだ」と協会の責任を指摘する意見が続出しました。これに対し町は、観光協会のチェック機能や管理体制が不十分だったと回答しました。

一方、「多くの職員はまじめに働いている。協会がよくなる方向で議論すべき」「協会がなくなると困るのは観光客。町にも責任はあるので、支援を続けて協会は存続させてほしい」「実行委員会への

1割の負担金は重い。これほど、協会の必要性を訴えるのはなんとかすべきだ」なる意見もありました。

### 中野ブロードウェイ(以下中野BW)、島とのイベント中止

さらなる問題は中野BW商店街組合が、八丈町だけでなく、大島や神津島も含む東京諸島観光連盟に対して、参加イベントの年内中止決定を申し出たことです。突然の打ち切りに、町も議会もその影響を心配しました。町に対して、原因の究明、組合との話し合い、他島への謝罪など、早急に対処すべきと要望しました。その後の町の対応は左記の通りです。

#### 6月13日 全員協議会

町は、副町長、産業観光課長、係長の3人で中野BW組合長らと会い、事実関係を確認し謝罪したと報告しました。中止の理由は、不祥事が起きたことへの驚きと憤りでした。しかし、年内のイベントは中止するが、今後については前向きに検討したいとのことでした。

議員からは、「迷惑をかけた大島や神津島に謝罪すべき」「八丈が育ててきたつながりを大切にすべき」「この商店街が町の投資先として適当かどうか疑問」などの意見が出ました。町は、6月中に東京都にお願いに行く、さらに、他島には7月の観光行政連絡会議で謝罪すると答えました。議会としても今後の動向に目が離せません。

過去に作られた橋梁等の強度は大丈夫であるか

答 一定の安全性を確保している



菊池 良 議員

◆所要時間 11分

作られてから時間がたつ各地のトンネル・橋梁・道路等の強度に対し、一昨年の東日本大震災の影響を受け、早急な見直し調査が求められている。

○八丈島でも、主要な幹線である、都道の横間道路の橋梁・大坂トンネル、飛行場滑走路下トンネルなど、建設以来かなりの年数が経っている。また林道を含めた多くの道路に架けられている橋梁等これらの強度については、大丈夫なのか。

○建設課長 八丈支庁管内において東京都の管理する橋梁やトンネルは、現状においても一定の安全性を確保しているが、現在、一層の安全性の向上を目指し、横間道路の橋梁群を中心に耐震補強工事等を進めている。



横間道路の橋梁

○日常的の管理等も含めて調査・補修等を行っているのか。

○東京都▽日々の巡回パトロールのほか、例えば都道の橋梁などは5年ごとに本格的な健全度点検を行い、その結果を踏まえ、必要に応じて補修工事等を実施している。

八丈町▽橋梁の補修点検は必要に応じて実施している。平成元年から、平成24年の間で、7橋の架け替え工事、1橋の補強工事を実施した。今後も引き続き、



大坂トンネル

実施していく。

○現在バス路線としても使用されている、中之郷の藍ヶ江へ降りる町道は、途中裏見ヶ滝温泉付近から下の道路に亀裂が入っていて、その亀裂の間から草の芽が見えているところもあり、強度の面で心配なところがある。状況を把握しているのか、そして日常の管理等行っているのか、また今後、補修工事等の予定があるのか。

○私は昭和55年に八丈町役



飛行場滑走路下トンネル

場に入庁したが、その時点で亀裂があった。その後33年経過しているが、亀裂の程度は当時とほぼ同じである。従って、地盤沈下や、地滑りが原因ではなく、舗装の打ち継目や、老朽化による舗装の亀裂の隙間であり、すぐに危険だとは認識していない。しかしながら、今後30年以内に60〜70%の確立で発生すると予想される、南海トラフ巨大地震等に備え、当該道路を含め、老朽化した既存道路ならびに橋梁の、適切な維持管理に努めていく。



裏見ヶ滝ヶ藍ヶ江間の道路

具体的に目標を定めた町職員の育成を

答 「人材育成」に関する指針をまとめた



奥山 幸子 議員

◆ 所要時間 36分

新庁舎にふさわしい職員を望む声は高まっている。町は、職員の人材育成に努力されてきたと思うが、さらに力を入れて欲しい。

◎資格取得を含め、専門的な能力をもつ職員とリーダーの育成をはかる考えはなにか。

◎総務課長 昨年、「人材育成」に関する指針をまとめた。内容は質問の趣旨とおおむね合致している。専門職員の育成については、一般職に加えて専門職を設

け職員が選べるシステムを検討したが、諸事情で見送った。

◎本人の希望に沿った異動を行っているか。種類は問わずに資格取得希望者を募集し支援する考えはあるか。

◎年に1回、職員から希望をとり、今年度は100%希望にそって異動した。資格取得の支援は、業務に支障がない範囲で行っている。職員の自己啓発も呼びかけている。

◎女性管理職の登用を進めるべきだと思うが、町の考えは。

◎女性の管理職育成については、町長が強い意欲を持っている。

◎昇格は試験で行うが受験志向が低い。今年度、町長の意向で昇進が可能となる「課長補佐」を設けたが、なかなか希望者がでない。

◎受験志向が低いこと自体が問題。受験をためらう理由は何かを明らかにし、意欲を持つよう支援すべき。

◎側面から支援すると言っても、責任の重さや議会の対策を考えると、躊躇するようだ。

◎側面から支援すると言っても、責任の重さや議会の対策を考えると、躊躇するようだ。

◎側面から支援すると言っても、責任の重さや議会の対策を考えると、躊躇するようだ。

◎側面から支援すると言っても、責任の重さや議会の対策を考えると、躊躇するようだ。

◎側面から支援すると言っても、責任の重さや議会の対策を考えると、躊躇するようだ。

たルールづくりを進め、開かれた庁舎を目指すべきと考える。

◎会議室の一部開放を。

◎企画財政課課長補佐セキユリテイの課題があり、会議室を一般開放する考えはない。

◎ギャラリーわきの厨房でカフェの営業を。

◎カフェは採算性から考えて難しい。今後要望があれば検討していく。

◎多目的ホールの利用料と利用規定の緩和。

◎教育課長 受益者負担の原則に基づいて決めた。高くないと思う。今後運営

◎これから運営をしていくなかで検討していきたい。

◎1000円以下の料金設定が非現実的。この区分をやめて3000円以下はすべてこの料金とするのが妥当と思う。再考を願う。

◎1000円以下の料金設定が非現実的。この区分をやめて3000円以下はすべてこの料金とするのが妥当と思う。再考を願う。

◎1000円以下の料金設定が非現実的。この区分をやめて3000円以下はすべてこの料金とするのが妥当と思う。再考を願う。

◎1000円以下の料金設定が非現実的。この区分をやめて3000円以下はすべてこの料金とするのが妥当と思う。再考を願う。



新庁舎ギャラリーの厨房

東京の島全体で観光の広域連携を

答

観光に携わる方々の意見を聞きながら検討する



山下 崇 議員

◆所要時間 23分

いわゆるアベノミクスの島内への波及は未だ限定的であるが、円安による観光客の入り込みには一定の効果を感じている。島内産業で大きなウエイトを占める農業、漁業、観光業における環境は、少子高齢化が進んでいることで今後は担い手不足による衰退が考えられる。これは、私たちの八丈島に限ったことではなく日本全体が抱える問題である。他の自治体の成功例、失敗例に惑わされることなく、取り組む必要があると思、次の点を質問する。

○成果を上げていく漁協女性部については、ソフト面からの支援を予算化している。

○観光業について▽観光協会との再生はもとより、他の島と結んで観光の広域化を図る考えはないか。

○東京諸島観光連携推進協議会という新たな枠組みを構築する予定。

○産業観光課長 担い手育成センターは平成20年度から運用しており、現在2期目である。1期、2期とも3名を対象としているが、研修生の増員、期間の短縮などを図っていく考えである。農協への支援については、広域的な組織であることから複数町村で連携して支援していく考えである。

○漁業について▽消費者の魚離れが進んでいるが、キヌメダイを中心に利益率の高い漁業もある。女性部の活動も評価が高く、一層の支援を行う考えはないか。

○離農者と遊休耕作地については拡大傾向にはないか。漁協女性部についても、担い手不足を感じる。行政としての役割を明確に。観光業については東京の島全体での広域連携について、各島だけでなく全体の価値観の向上を図る考えはないか。

○離農者については担い手育成センターで20年で15名。これは、離農者の半分を目指している。遊休耕作地については農地リフレックス事業などの施策を行う

ている。加工場の運営については、担い手の部分も含めて検討していく。

○離農者の数、遊休耕作地の面積増について直近の調査結果から回答を。

○昨年の離農者は29名である。

処理コストが掛かる産業廃棄物を堆肥化等によって資源化することはできないか

答  
ゴミ処理問題協議会等にはかり現実的な方向を模索していく

官民一体となった取り組みの結果、島内から排出される廃棄物は数字の上では減っている。しかし、産業廃棄物は適正に処理を行うと高額な処理費用の負担が生じるのが現状である。場合によっては適正処理が現実的でない場合もある。行政が産業を後押しし、環境保全を進める観点から伺う。

○産業ごとにきめ細かく対応する考えはないか。

○住民課長 産業廃棄物は東京都の所管なので問い合わせた。産業廃棄物は品目ごとに指定されているため、業種ごとの対応はできない。

○リサイクルに係る費用負担の増大をどのように考えるか。

○産業廃棄物のリサイクル費用は、事業者が負担するものであり、離島においても特段の措置はない。

○例を挙げると、焼酎の絞りかすなど島の産業の中でも適正処理では非常にコストの掛かる物を堆肥化等によって資源化することはできないか。

○産業廃棄物を通じて産業を後押しするという考えは同じである。速効案は出せないがゴミ処理問題協議会等にはかり現実的な方向を模索していく。

八丈島における漂着「ゴミ」について

**答** 通称「海岸漂着物処理推進法」により都と協議して事業を推進していく



岩崎 由美 議員

◆所要時間 23分

観光地として、八丈島の海の大いだが、漂着ゴミによって景観が損なわれているのが現状。海域に生息する動物にも影響を与えていると考えられる。

問 八丈島の海岸で、漂着ゴミが多い場所を把握しているか。

答 住民課長 東京都が地域計画を策定し、海岸漂着物の処理のために必要な措置を講ずる。重点区域海岸を選地する最中で、現在候補は、大潟浦、乙千代ヶ浜、

底土港、底土海水浴場、八重根港である。

問 八丈島における「海岸漂着物地域対策推進事業」の進捗状況は。

答 伊豆諸島は平成26年度の実施をめざしている。現在、計画策定全体の10～15%程度の進捗状況と推測している。

問 国の事業ということで建設業協会などと協力して雇用創出のしくみをつくる事はできないか。

答 東京都の予算で実施するので、町としては人力では無理なところは機械の必要性を都に申し上げている。

問 観光からの視点で、選定予定地以外にもゴミが目に見

付くところがあるが、計画策定の中で選定地を再検討はできないか。

答 再検討についてはあくまでも都が各島のバランスを考えて決定することであるが町としては要望していきたい。

子宮頸がんワクチン接種について

**答** 町は勸奨の義務が生じるが、個人は接種の義務は生じない

この4月より子宮頸がんワクチンが定期接種となった。現在その副作用が大きな社会問題となっている。

問 町において、対象者および接種を受けた人数は。

答 福祉健康課長 中学生全員が対象となった平成22年度は97人の対象者のうち94人が、23、24年度は28人中26人が、25年度は35人にに対し25人が申し込んだ。

問 町では接種後に副反応が

報告された例はあるか。

答 重篤な副反応はこれまでに報告されていない。

問 25年度より定期接種となったが、接種を受けない方への対応は。

答 事前の申し込みがなければ、接種の再勧奨は行っていない。

問 接種のリスクについて、十分に説明を行っているか。

答 該当する生徒の家庭へ接種注意文書と同意書を送付しており、副反応の頻度、接種を受けてはいけない場合、医師に事前相談が必要な方を記載している。これからもできるだけ接種リスクの周知をはかった上で保護者同意の接種を実施していきたい。

問 国の施策とはいえ、住民の命を守るのは町の責任であるのでリスクの周知は十分にやってほしい。「定期

接種」は個人に義務は生じないかどうか。

答 現時点では相互の関連性について医学的な論拠に乏しいとして、定期接種を中止するまでには至ってない。今後、関連性が明確化され国として考えるだろう。今のところ町としては定期予防接種の義務化について、町は勧奨しなければいけないが、受ける側は義務ではない。(厚生労働省の通知により、「子宮頸がん」については現在勧奨していない。)

子宮頸がん予防ワクチンの接種を受ける皆さまへ (平成25年6月版)

現在、子宮頸がん予防ワクチンの接種を積極的にはお勧めしていません。

接種に当たっては、有効性とリスクを理解した上で受けてください。

子宮頸がん予防ワクチンの有効性とリスクについて、お知らせします。ワクチンの接種は、その有効性と接種による副作用(専門的には「副反応」といいます)が起こるリスクを十分に理解した上で受けるようにしてください。

厚生労働省ホームページ掲載のリーフレットのの一部

災害時における要援護者世帯の避難、誘導訓練の実施は

答

訓練は実施したが、地図情報を活かした避難体制の検討を行う



水野 佳子 議員

◆所要時間 18分

東京都より南海トラフ地震が発生した場合の被害想定が公表された。島しょ部で死者1774人、津波30㍎、その中で八丈島は最大津波想定約18㍎、死者行方不明者23名との推計が出た。2年前の東日本大震災以来町の防災対策についてはこの議会でも何度もとり上げられている。要援護者への名簿作りも進んでいるようだが、大規模災害時の高齢者を含め支援を必要とする人達への誘導、支援の充実が緊急の課題となっている。

要援護者世帯に対して具体的な避難、誘導の訓練を実施しているか。

総務課長 「災害時要援護者避難体制整備事業」という、災害時に援護が必要な方の情報を地図情報と連携させて、防災体制に活用するための準備を進めている。平成23年度、24年度の八丈町防災訓練でひと世帯ずつ訓練を行ったが内容の精査が必要。地図情報の強みを活かした避難体制を検討する。

町中、保育園や学校にいた場合の子供たちの安全をどう守るか。各保育園、学校などの耐震強度は万全か。

海抜では保育園小中、高校も含め全て30㍎よりはるかに高い所に位置している

また、定期的に避難訓練が実施されているので安心してもらいたい。耐震については、小中学校は問題ない。保育園は、若草保育園のみ耐震対応が必要なので補正予算に耐震補強の設計費用を計上する。

夏のピーク時など観光客が多く滞在することも考えられるが、避難ルート、避難場所に不慣れな観光客にどのような指示、誘導方法を考えているか。

昨年度全戸配布した津波防災マップを今年度バージョンアップさせたいと考えている。町道と都道の海抜表示地点、AEDの設置場所をマップに落とし、全戸配布と共に宿泊施設に配布することや、宿泊施設から観光客等への周知をしていくことを徹底したい。観光案内版に海抜の表示をしていくことも考えている。

公民館の耐震強度は。

教育課長 大賀郷公民

館を除く、耐震の旧基準で建てられた4公民館については、当初予算2千百万円で耐震補強を実施する。

ブックスタートの支援を

答

先に配布した「八丈町子供読書活動推進計画」に盛り込まれている

朝の読書運動や読み聞かせなど、子供の読書運動がボランティアやお母さん達の協力で島の中でも活発に行われている。

幼い時期から良い本に出会うことによって感性が磨かれ、優しい子供に成長する。昨年末現在全国832市区町村で実施されており、大変好評である。赤ちゃんが生まれたらお祝いに赤ちゃんと同様に絵本を贈る「ブックスタート」の実施を進めては。

教育課長 「八丈町子供読書活動推進計画」を策定し6月の広報折込で各世

帯に配布した。この計画の中に「乳幼児に向けた取り組み」として、乳児（0歳児）検診時にボランティアによる読み聞かせを行い、絵本を渡すことによって、お母さん方に、子どもと一緒に本を楽しむきっかけをつくる事業が盛り込まれている。絵本を通して親と子がかみふれあう時間を通し、意味が理解できなくても声や絵に反応することによって感受性を高め、本に関心を深める取り組みで、来年度より開始する計画である。

図書館建設の見直しは

図書館推進協議会で検討中。



八丈町子供読書活動推進計画

「歴史文化遺産を活用した八丈島エコ・ミュージアム構想」を精査し、都に提出を

**答**  
資料館整備の方向性が出た段階で進める



山下松邦 議員

◆所要時間 11分

を守る改正離島振興法である。一刻も早く、「八丈島エコ・ミュージアム構想」の提案を精査して都に提出するべき。

昨年12月の定例議会の一般質問で、離島振興法を活用した「歴史文化遺産を活用した八丈島エコ・ミュージアム構想」（以下、「八丈島エコ・ミュージアム構想」とする）実現を提案した。町の考えと方向性は同じなので提案を精査し、協働できる部分は連携を図りながら取り組んでいくとの回答であった。

圏全国254の有人離島に住む38万7000人の生活

**問 企画財政課長** 民間団体から提案があった「八丈島エコ・ミュージアム構想」は、島の歴史文化遺産を活用して島おこしを図るというものであった。提案には、資料館整備から島言葉の活用まで幅広い活用が示され、検討組織の立ち上げ、年次計画も記載されている。歴史文化遺産を活用する上で、中核施設となる資料館整備については、町でも基本計画を示したが、その後の具体的な方向性が出されていない。資料館の方向性が出た段階で、連

携・協力を取りながら進めていく。

圏内閣府や都も八丈町の提出を待っていると聞いている。「八丈島エコ・ミュージアム構想」の提案を離島振興法活用の突破口にし、町に山積している課題に離島振興法を活用していきたいと考えるが、町の考えは。

**答** 現在の離島活性化交付金等事業計画の状況は、都において、八丈島を含め伊豆諸島地域を対象とした平成25年度から29年度までの3カ年計画を国へ申請している。八丈町では医療に関する事業、消防救急無線デジタル化事業、農業担い手研修センター事業、離島漁業再生支援事業の4事業を計画にあげている。この計画は毎年度検討を重ね、追加事業も可能となつていく。提案についてもまとめた段階で申請したい。



歴史民俗資料館

観光推進係の設置を

答  
観光課、教育課の職員増員について、今年一年様子を見たい



廣江 才議員

◆所要時間 19分

観光協会において不祥事が発生したとのことである。法人化して、更なる飛躍を期待していただけに残念であると同時に、公金を投じているだけに遺憾である。協会執行部が体制強化と充実を急ぎすぎた嫌いはあるが、その熱意そのものが悪いわけではない。むしろ、その熱意が積極性を生む観光振興において、最も重要なファクターであると思う。ただし、観光協会では、以前にも同様の不祥事があったと聞き、時代の流れの中、もはや組織のあり

方、運営面を含めて考える時期に来ているのではない。特に本年9月には都主催のスポーツ祭があり、また目の前には夏場の観光シーズンを控え、町にとっても待ったなしの状況である。昨年、離島中学軟式野球大会を乗り切った経験があるとはいえ、運営面において多義多様に渡り協会には協力を得、町としても、スポーツ祭を是が非にも成功させなければならぬ。公的な観光振興のあり方について、是非があることは承知しているが、独立した観光推進係を設け、将来は観光振興課をも視野に入れた改革を提案したい。

観光協会の業務能力は無視できない状況であり、現協会職員を嘱託職員として雇用し、対外的に不都合を

来たさない方向で職務を遂行していく。観光協会の新たな構想、意見も聞かねばならないが、現状において、その方法が適切であると考ええる。なお、私見であるが、観光実行委員会、観光協会は解消し、ワーキンググループとして、企画、運営面等の具申、また、受益者以外の熱意ある民間人を募集による登用、観光のあり方、その未来性、観光資源の創造など、幅広い思考集団として位置づけたい。短期滞在の観光客だけでなく、疲れを癒しに来る長期滞在型の観光、リピーターが増えるような、そうした受け入れを模索し実行する機能にしたいと考える。また、画一的でなく、大胆な発想による観光を目指し推進していくためには、観光推進係の職員はワーキンググループの意見の理解者でなくてはならないし、職員自身の理解が必要不可欠である。

そのため、職員は、その道の専門職員として位置づけ、各地に派遣し、観光の真髄を学ばせるのも必要で

ある。観光は八丈島の貴重な産業であり、その重要性はいうまでもない。観光産業には先行投資が必要である。実行委員会の予算枠は推進係が引き継ぎ、費用対効果を検証し運営するならば、不祥事を生むことはない。但し、先程も述べたが、例えば町が機軸として観光に係わったとしても、民間と同様に、観光振興に対して柔軟かつ迅速な対応ができる、実行力のある機関として位置づけたい。見解を。

町では新庁舎移転に伴い、

産業観光課とスポーツ誘致と密接に関係がある教育課が同一フロアになったことで、情報の共有、情報交換の体制を整えた組織改善を実施した。多様化、変化し続ける観光の動向に対して迅速な対応、受け入れ態勢の充実を図るためには、町、観光協会、観光関係諸団体の役割分担を明確にして取り組むことが重要であり、連携を図ることで柔軟かつ迅速な対応が可能な体制を構築できると考える。

町の観光は、自然、スポーツなど受益者が幅広いので一つのことに特化するの難しい。スポーツに特化した場合、観光と一緒にし、職員を一人増員して観光に力を入れたい考えもあるが、今年一年様子を見たい。政策会議でも産業観光課、教育課の増員について練っている。

産業観光課長 八丈町

町長

観光振興実行委員会は町が事務局を担当し、八丈支庁、商工会、観光協会、観光事業者、観光関係諸団体の構成で観光事業を実施。内部団体として基盤整備、イベント、広報の3部会があり3年前から活動。部会の構成も観光業務に関係している方で、民間の力を活用して取り組んでいる。町職員では限界があり、情報収集は現部会の構成で迅速な対応ができていたとの認識。

外科医不在は町立病院に対する不信になるので早急な対策を

**答** 本年11月、外科医師を採用する方向で動いている



菊池 睦男 議員

◆所要時間 38分

考えられる。

問 後任医師の手当の見通しは。

答 本年11月、現在49歳の外科医師を常勤採用する方向で動いている。

問 医師の安定的確保についての恒久的対策をどう考えるか。

答 5年後、10年後を見越しての計画的な医師確保について、東京都や関係する大学等に働きかける。医療スタッフの確保は、東京都、大学病院でも人材が不足している。

問 25年度の国家予算では、地域医師の不足病院における医師の確保支援のための、都道府県が設置する地

区事務局長 採用までの経過から鑑み、勤務内容の様子を見るため、また、本人の希望もあり非常勤の臨時医師として採用。原因は直接伺っていないが、外科医師が医療スタッフとの意思疎通をできなかったこと等が

域医療センターがあり、20ヶ所から30ヶ所に増やした。こういうものを利活用する。また、町長は全離島の副会長なので離島活性化交付金を活用するなどして、全国離島に呼びかけて、医師確保のための制度設計の一大運動を行う覚悟はないか。

問 町長 国土審議会の委員でもあるが全国で医師不足に困っていると聞く。東京都においても民間から雇うと都の補助が無い、定年後まだ働けるが補助の道が無いこともある。外科医は賠償問題などでなりたがらない状況がある。病院には足を運びお願するしかないが、離島振興法が成立して、国土審議会もこのようなソフト面の話もできるようなものになると思うので、そのような面で努力していきたい。

生活保護基準引き下げの制度改正が八丈町に及ぼす影響について

**答** 国の動向を見ながら対応する

政府は国民負担の増大を極力抑制する観点から生活扶助基準・医療費扶助の適正化などの生活保護の見直しを実施する。

問 町の諸施策についての影響をどう把握されているか。事業名と内容を明らかにされたい。

答 福祉健康課長 準要保護者に対する就学補助、住民税非課税限度額などに影響が及ぶことが予想されるが、国によると税制改正は来年度以降ということなので詳細は不明。住民税非課税限度額の変更に伴う所得税の変更があると、福祉健康課所管では、介護保険料や高額介護サービス費等の段階区分に、また、保育料、養護措置費にも影響が出る

ことが予想される。

問 自民党政権の生活保護を突破口とした社会保障切捨て、地方公務員の給与削減などに対して日本の将来を危惧するが、町長の見解は。

答 町長 国の動向を見ながら、制度に感心を持ち対応したい。

●こんな質問もしました

質問 新・旧庁舎の維持管理費の比較を明らかに

答 新庁舎が6958万2千円増

質問 約40億円がかかった豪華庁舎だが、使い勝手などの問題点ならびに改善策はあるか。

答 正面玄関に職員を配置して来庁される方の対応にあたった。その際、伺った意見は駐輪場、郵便ポスト、公衆電話、会議掲示板、階段目隠しなどの設置や、表示をわかりやすく、等あるが、全て対応する方針。



## 第二回定例会の質疑から

### クロアシアホウドリの産卵場所の整備を

京都とも相談しながら進める。9月補正もある。

長戸路義郎議員

八丈小島



にクロアシアホウドリが30羽近く来ています

頃産卵が始まるのではないかとされている。世界的にもこれだけ近い場所でも船で行って見ることができない場所はない。町は一大観光地になると思っているので、投資をして産卵場所の整備をするべき。

**産業観光課長** 支庁産業課が担当。11月の状況を見て今後考えていきたいと確認している。

長戸路義郎議員 11月では遅い。支庁と連携をとり今から始めるべき。

町長 分からないままでは手を付けられないので、東

### 観光パンフレットに英語表記を

奥山幸子議員、岩崎由美議員、水野佳子議員 観光パンフレットは何処の観光地でも日本語、英語、韓国語、中国語の4カ国語が主流となっている。町も少なくとも英語を併記すべき、また種類が多すぎる、記載漏れ誤字脱字などを精査の上作成するべき。バス停と歴史民俗資料館の資料にも英語の表記を。

**産業観光課長、企業課、教育課長** 観光パンフレット▽観光客の皆さんが一冊見れば分かるような方向にできるだけまとめたい。英語の表記と併せ八丈島観光振興実行委員会の広報部会で話し合いながら進める。バス停▽対応可能と考える。

歴史民俗資料館資料▽更新の際、実施の方向で検討。

### 末吉小学校跡地活用の方性は

沖山宗春議員

末吉小学



校の校舎で大学生が合宿を行うというが、寝具等の宿泊

の受け入れ状況は。

**教育課長** 獣医生命科学大学は寝袋を持参。日本大学から畳を200枚頂けるので、それを敷きその上で寝袋や毛布を利用してもらうことを考えている。

沖山宗春議員 寝具が無いような施設では誘致ができない。「行ってみたい」と思わせる施設が必要。小学校の厨房がある棟だけでも簡易な宿泊施設にして、階段の付いたベッドなどを整備すべき。小さい子供の利用も考えなければいけない。9月の補正に入れて、簡単な設計図作成を考えて。

**企画財政課長** 今年度は試行的に利用することで、地域の方と合意を得たと感じている。秋以降の受け入れが必要になる部分は、施設の改修も含め考えたい。

土屋博副議長

末吉小学



校は交流施設として利用することのでき決定したのか。

**企画財政課長** 学習交流施設として使って行きたいと提案した。その中で、地域の方がどのようにかかわれるかを検証するため、当面試行的に実施する。地域の方も組織を立ち上げてい

るので、意見を聞きながら利用を考えたい。

土屋博副議長 地元の自治会、郷友会、関係者の協力

を得て宿泊施設として活用する方向性で決まれば、東京都教育庁、行政部にもお願いして内装などの整備をし、末吉地域の方々が合併して良かったと思えるような形にすべき。方向性をはっきり示すべき。

町長 今回は試行的に実施。研修施設利用関係での補助もある。じっくり計画を立てたい。

●その他

◎地熱館の委託先は

◎学校給食の牛乳の契約状況は

◎小中学生の通学路指定方法

◎アオダイショウの駆除を

◎国から購入した町有地(三根護神交差点付近)に公衆トイレ設置を

なども質問しました。

### 賛成多数で可決しました

#### 八丈町議会会議場国旗及び町旗掲揚条例

提出者…山下崇

賛成議員…菊池良 岩崎由美 水野佳子 山下松邦 奥山幸子 山口英治 奥山博文 沖山宗春 土屋博

来年度、八丈町はハワイマウイ郡との姉妹都市提携50周年を迎える。大賀郷小学校の5、6年生児童は、「外国語活動」の一環で7月3日にティーリーフを使ったレイづくり、10日には、ハワイのクムフラ（フラの師範）のイヴァラニ・カリマさんを講師に招いて、フラの文化や歴史、楽器の話聞いた。イヴァラニさんのウクレレの伴奏と一緒にフラの体験も。



## 6月定例会主な議決事項

- 専決処分事項の報告及び承認について  
(平成24年度八丈町一般会計補正予算)  
ほか専決処分3件
  - 平成24年度八丈町一般会計継続費繰越額の報告について  
ほか報告1件
  - 八丈町職員懲戒審査委員会補充員の任命の同意について
  - 平成25年度八丈町一般会計補正予算  
ほか補正予算1件
  - 八丈町産業振興資金貸付基金条例を廃止する条例
  - ほか条例制定・改正5件
  - ロードセル式計量装置付し尿収集運搬車  
(2t車・4t車) 購入契約
  - 富士見地区公会堂の指定管理者の指定について
  - 町道の路線の認定について
  - 東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について
  - 議員の派遣承認について  
(小笠原親善訪問) ほか議員派遣2件
- 全員協議会開催  
平成25年6月13日開催
- 中野ブロードウェイ連携事業報告について
  - 町有地の使用許可について

## 編集後記

八丈島が最も賑わう季節となりました。世界有数の透明度を誇る黒潮ブルーと称される海、暗闇に浮かぶ光るキノコの幻想的な光、サラサラと音をたてて流れるような天の川や満天の星空を今年も多くの方が楽しめることでしょう。「観光」とは文字通りその地域ならではの「光」を「観る」ということ。観光客の皆様を迎える側の努力次第で、島はもっと光り輝くことがで

きると思います。観光における様々な課題はありますが、心をひとつにして、島のよさをみんなに伝えるという前向きな姿勢が今こそ必要なのではないでしょうか。今年には多くの音楽祭なども企画されているようですが、既存のイベントにとらわれることなく、新しいチャレンジを行っていくことも大変重要な事と感じています。  
岩崎由美